

簿記原理Ⅱ

科目ナンバリング ACC-102
選択必修 2単位

西山 一弘

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、簿記原理Ⅰに引き続き、財務諸表作成のための記録・計算の手法を学習します。

2. 授業の到達目標

簿記に関する基礎的な知識を習得し、会計情報の形成過程を理解することを目標にしています。

3. 成績評価の方法および基準

次の基準で評価します。

- 1.講義中に行う小テストや出席状況:40%
- 2.定期試験:60%

4. 教科書・参考文献

教科書

新田忠誓他著 『エッセンス簿記会計(最新版)』 森山書店

5. 準備学修の内容

複式簿記の理解には、各自による事後の学習【復習】が不可欠です。

各回の授業後、教科書における練習問題を指定するので、問題を解いた上で、次の講義に臨むようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

簿記原理Ⅰを履修済みか同等以上の簿記の知識があることが望ましいです。

講義には電卓を持参してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:講義の進め方、成績評価の方法について説明します。
- 【第2回】 簿記原理Ⅰの復習を中心に簿記の基礎を確認します。
- 【第3回】 現金預金取引と現金出納帳・当座預金出納帳の記帳について学習します。
- 【第4回】 商品売買取引と売上帳・仕入帳の記帳について学習します。
- 【第5回】 商品有高帳の作成方法について学習します。
- 【第6回】 売上原価の計算・記帳方法について学習します。
- 【第7回】 掛取引と売掛金元帳・買掛金元帳の記帳について学習します。
- 【第8回】 手形取引の記帳について学習します。
- 【第9回】 貸倒れの会計処理と貸倒引当金の計算・記帳について学習します。
- 【第10回】 有形固定資産の取得と減価償却の計算・記帳について学習します。
- 【第11回】 収益・費用の見越しと繰延の会計処理について学習します。
- 【第12回】 損益勘定(損益計算書)と残高勘定(貸借対照表)の作成について学習します。
- 【第13回】 8桁精算表の作成について学習します。
- 【第14回】 証憑と伝票制度について学習します。
- 【第15回】 まとめ:これまでの講義内容の復習をします。